

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2019年11月14日

**【四半期会計期間】** 第45期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

**【会社名】** 伊豆シャボテンリゾート株式会社

**【英訳名】** Izu Shaboten Resort Co.,Ltd

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 北本 幸寛

**【本店の所在の場所】** 東京都港区南青山七丁目8番4号

**【電話番号】** 03-5464-2380

**【事務連絡者氏名】** 経営企画室室長 桑原 亮介

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区南青山七丁目8番4号

**【電話番号】** 03-5464-2380

**【事務連絡者氏名】** 経営企画室室長 桑原 亮介

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期 連結累計期間	第45期 第2四半期 連結累計期間	第44期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	1,609,022	1,610,895	3,101,616
経常利益 (千円)	232,438	225,225	413,653
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	221,582	207,517	385,663
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	220,041	211,357	382,987
純資産額 (千円)	1,975,054	2,349,325	2,137,976
総資産額 (千円)	2,552,497	2,834,733	2,655,385
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.78	7.29	13.54
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	77.4	82.9	80.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	315,565	228,148	591,666
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△358,168	△349,095	△569,362
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△2,347	△2,021	△4,009
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	347,288	287,448	410,472

回次	第44期 第2四半期 連結会計期間	第45期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	5.90	5.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善等が引き続き、緩やかな景気回復の動きが見られます。一方、個人消費には持ち直しの動きがあるものの消費増税等を控えており、景気の下振れリスクは高まっております。

このような状況下、当社が展開する各レジャー施設では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各施設の入園者数と売上確保に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高1,610百万円（前年同四半期に比べ0.1%増）、営業利益219百万円（前年同四半期に比べ2.7%減）、経常利益225百万円（前年同四半期に比べ3.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益207百万円（前年同四半期に比べ6.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

伊豆シャボテン動物公園では、開園60周年を記念してオープンした「レッサーパンダ館」にビントロングが新たに仲間入りしました。また、国内では大変珍しいキタコアリクイとヨツメオポッサムも新たな仲間に加わっています。

伊豆ぐらんぱる公園では、約20体の実物大の恐竜の間をゴーカートで疾走出来るDino Age Kartがオープンしました。同時にのんびり散歩派にも楽しんでいただけるDino Age Walkもオープンしております。

#### (2) 財政状態の分析

##### 1. 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて142百万円減少し、534百万円となりました。これは主として、現金及び預金が167百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて321百万円増加し、2,300百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が244百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて179百万円増加し、2,834百万円となりました。

##### 2. 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて58百万円減少し、246百万円となりました。これは主として、買掛金が21百万円減少したこと等によります。また固定負債は、前連結会計年度末に比べて26百万円増加し、239百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、485百万円となりました。

##### 3. 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて211百万円増加し、2,349百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の80.5%から82.9%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し、287百万円（前年度四半期は347百万円）となりました。

#### 1. 営業キャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、228百万円（前年度四半期は315百万円の資金獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の225百万円によるものであります。

#### 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、349百万円（前年度四半期は358百万円の資金使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出の384百万円によるものであります。

#### 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、2百万円（前年度四半期は2百万円の資金使用）となりました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,496,537	28,496,537	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。 完全議決株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
計	28,496,537	28,496,537	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日	—	28,496,537	—	100,000	—	186,500

## (5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式 を除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ケプラム	東京都千代田区一番町20-6-203	2,700,000	9.48
ロイヤル観光有限会社	広島県広島市中区広瀬北町3-36	1,950,000	6.85
小島一元	大阪府八尾市	1,504,550	5.28
有限会社MBL	東京都港区南青山7-8-4	1,250,000	4.39
株式会社トーテム	東京都港区南青山7-8-4	1,250,000	4.39
株式会社BEC	東京都港区南麻布1-6-31-103	1,250,000	4.39
東拓観光有限会社	広島県広島市中区広瀬北町3-36	725,000	2.55
山河企画有限会社	広島県広島市西区観音町9-4-202 観音ビル	625,000	2.20
石川博実	愛知県刈谷市	512,900	1.80
株式会社大富	東京都江戸川区大杉3-6-4	400,000	1.40
計	—	12,167,450	42.73

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等) (注1)	普通株式 23,200	—	—
完全議決権株式(その他) (注2)	普通株式 28,257,400	282,574	—
単元未満株式	普通株式 215,937	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	28,496,537	—	—
総株主の議決権	—	282,574	—

(注1) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社保有の自己株式であります。

(注2) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が29,000株(議決権の数290個)、「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が80株含まれております。

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
伊豆シャボテンリゾート 株式会社	東京都港区南青山 7-8-4	23,200	—	23,200	0.08
計	—	23,200	—	23,200	0.08

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、KDA監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	551,976	384,950
売掛金	59,582	52,075
未収入金	1,484	-
商品等	32,815	35,243
その他	30,286	61,769
流動資産合計	676,145	534,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,449,521	1,693,756
土地	23,364	23,364
その他	331,806	390,926
有形固定資産合計	1,804,692	2,108,047
無形固定資産		
ソフトウェア	602	164
無形固定資産合計	602	164
投資その他の資産		
投資有価証券	8,198	12,038
長期化営業債権	12,156	12,156
破産更生債権等	754	754
繰延税金資産	89,180	97,456
その他	76,565	82,988
貸倒引当金	△12,911	△12,911
投資その他の資産合計	173,944	192,483
固定資産合計	1,979,239	2,300,694
資産合計	2,655,385	2,834,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,476	17,308
未払金	157,171	140,325
前受金	27	28
預り金	8,864	4,638
未払法人税等	24,408	26,006
賞与引当金	21,599	27,239
その他	54,609	30,649
流動負債合計	305,156	246,195
固定負債		
退職給付に係る負債	150,110	154,190
リース債務	9,326	34,334
その他	52,815	50,687
固定負債合計	212,251	239,212
負債合計	517,408	485,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,423	425,404
利益剰余金	1,630,446	1,837,964
自己株式	△12,150	△12,138
株主資本合計	2,143,720	2,351,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,743	△1,903
その他の包括利益累計額合計	△5,743	△1,903
純資産合計	2,137,976	2,349,325
負債純資産合計	2,655,385	2,834,733

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,609,022	1,610,895
売上原価	559,718	536,462
売上総利益	1,049,303	1,074,432
販売費及び一般管理費	※1 823,311	※1 854,602
営業利益	225,992	219,830
営業外収益		
受取利息	33	18
受取賃貸料	733	749
為替差益	34	-
償却債権取立益	2,005	-
受取手数料	683	4,029
その他	3,036	949
営業外収益合計	6,527	5,747
営業外費用		
支払利息	36	256
その他	44	95
営業外費用合計	81	352
経常利益	232,438	225,225
特別利益		
固定資産売却益	2,090	-
受取保険金	32,763	23
特別利益合計	34,853	23
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	267,292	225,249
法人税、住民税及び事業税	31,789	26,007
法人税等調整額	13,920	△8,275
法人税等合計	45,709	17,731
四半期純利益	221,582	207,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	221,582	207,517

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	221,582	207,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,540	3,840
その他の包括利益合計	△1,540	3,840
四半期包括利益	220,041	211,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,041	211,357
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	267,292	225,249
減価償却費	89,603	96,916
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,642	4,080
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,136	5,639
受取利息及び受取配当金	△33	△18
支払利息	36	256
為替差損益 (△は益)	△34	55
償却債権取立益	△2,005	-
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,090	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△391	7,508
商品等の増減額 (△は増加)	△6,080	△2,427
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,230	△21,179
前渡金の増減額 (△は増加)	△2,628	△23,813
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△21,116	△6,176
未払又は未収消費税等の増減額	31,897	△24,671
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△8,688	△9,476
受取保険金	△32,763	△23
その他	584	852
小計	287,842	252,770
利息及び配当金の受取額	33	18
利息の支払額	△36	△256
法人税等の支払額	△5,039	△24,409
法人税等の還付額	1	2
保険金の受取額	32,763	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,565	228,148

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,007	△24,002
定期預金の払戻による収入	63,006	68,005
有形固定資産の取得による支出	△318,853	△384,012
預り保証金の返還による支出	-	△2,000
保険積立金の解約による収入	314	184
敷金及び保証金の差入による支出	△18,678	△236
その他	△4,951	△7,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,168	△349,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他の支出	△2,347	△2,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,347	△2,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,916	△123,023
現金及び現金同等物の期首残高	392,205	410,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 347,288	※1 287,448

**【注記事項】**

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

連結子会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
スイート・ベイジル(株)	106,375	78,526

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給与手当	253,447	261,351
減価償却費	89,603	96,916
賞与引当金繰入額	22,454	27,119
退職給付費用	4,432	4,495

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金	479,791	384,950
預入期間が3か月を超える定期預金	△132,502	△97,501
現金及び現金同等物	347,288	287,448

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	7円78銭	7円29銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	221,582	207,517
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	221,582	207,517
普通株式の期中平均株式数(株)	28,473,633	28,473,237
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

伊豆シャボテンリゾート株式会社

取締役会 御中

KDA監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 佐佐木 敬昌 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 毛利 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊豆シャボテンリゾート株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊豆シャボテンリゾート株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。